いたる
ITARU CENTER

いたるではたらく



INDEX



對馬　麗香さん…… 3ページ
つしま　れいか

2022年4月1日入社（新卒採用）
阿佐谷福祉工房　　就労継続支援B型　所属



邊見　奎亮さん…… 8ページ
へんみ　けいすけ

2020年4月1日入社（新卒採用）
包括ケアセンター　　グループホーム　所属



今野　萌さん…… 13ページ
こんの　もえ

2023年4月1日入社（中途採用）
目黒区立目黒本町福祉工房　　就労継続支援B型　所属



高倉　佳孝さん…… 18ページ
たかくら　よしたか

2024年4月1日入社（中途採用）
あけぼの作業所　　リーフグループ（生活介護）所属



玉城　萌さん…… 23ページ
たましろ めぐみ

2018年10月1日入社（中途採用）
ピヨピヨおうちえん荻窪駅前 所属



グエン ホン ゴックさん…… 28ページ

2019年4月1日入社（新卒採用）
包括ケアセンター　　グループホーム 所属

新 卒 採 用　通所支援員



つしま　れいか
對馬　麗香さん

2022年4月1日入社（新卒採用）

阿佐谷福祉工房
就労継続支援B型 所属

WORK



利用者さんのさまざまな個性や価値観と出会う中、
前向きに変わっていく自分に驚いています。

LIFE



カフェ巡りに手芸、「推し活」もエンジョイ！
幅広く趣味の時間を楽しんでいます！

WORK

利用者さんのさまざまな個性や価値観と出会う中、前向きに変わっていく自分に驚いています。

—障がい者支援員を目指そうと思った契機

授業で見た「障がい者の就労支援」の現場の密着動画が契機に。学生時代に支援の現場を経験し、より関心を深めました。

私は福祉系大学出身なのですが、大学1年生の時に障がい者の就労支援の動画を見たことが、福祉の仕事を志望するきっかけでした。授業の一環で障がい者施設の実習に行ったり、ボランティアで実際に支援をする中で、福祉職のイメージをつかめたことから、より関心を深めていきました。

—いたるセンターに就職を決めた理由

生活介護の利用者さんにも、作業を提供して工賃を得てもらう方針。

さまざまな障がい者施設を見たり、実習やボランティアなどを経験してきました。その中でいたるセンターは、障がいの程度にかかわらず、生活介護事業所でも作業を工夫して提供し、工賃を得てもらいたい、という方針・方向が、他の法人とは違いました。ですから、最初からいたるセンターで働きたいという思いはありましたね。



—阿佐谷福祉工房・就労継続支援B型での業務

さをり織り製品や製菓（ナッツ菓子等）などの自主生産品づくりをサポート。利用者さんの工賃アップを考えながら業務に臨んでいます。

主に利用者さんが行う日中活動を支援しています。私のグループでは、主に自主生産品（ナッツ菓子・さをり織り等）の製造やパッケージング作業のサポートを行っています。直接的なサポートはもちろん、作業の調整（工程分解やスケジュール管理等）も大切な業務です。その他の業務では、杉並区の公園清掃やBDF（バイオディーゼル）作業（主に食用油の回収等）も、阿佐谷福祉工房・就労継続支援B型の業務です。







—実際に支援の現場に入ってから思ったことは？

にぎやかでポジティブな利用者さんと過ごすなか、自分自身も明るく前向きにふるまえるように。

阿佐谷福祉工房の利用者さんは、明るく元気な方が多く、作業には真剣に向き合いますが、いつもにぎやかな雰囲気です。入職して利用者さんとともに過ごすなかで、私自身の性格や人間性がいつの間にか変わっていき、明るく前向きにふるまえるようになりました。学生時代は「ネガティブ・暗い・人見知り」を自認していましたが🙂当時の友人には「変われば変わるもの」と驚かれています

—どんなところに働きがいを感じますか

利用者さんに笑顔をいただけるときは、本当にうれしい！日々の積み重ねを大切に、やりがいも大きくしていきたいです。

やっぱり、利用者さんの笑顔ですね。いつも皆さん笑顔で過ごされていることが多いのですが、作業の調整や外出活動の企画などで、満足のお声や笑顔がいただけるときは、心からやりがいを感じます。

今後の目標は、利用者さんやご家族から信頼をいただけるだけの知識や実力を身に着けることです。社会人経験を積んだ中途入職の先輩や上司などは、支援の現場にあっても、コミュニケーションひとつ取っても多くの引き出しを持っておられるように感じます。まだまだ勉強不足を実感することが多いので、人生経験をしっかり積んでいきたいと思います。

さまざまなジャンルの本など、興味を抱いたら購入するようにしていますが、いまのところは「積ん読」になっている本もあり、これから読もうと思っています 😊

—いたるセンターへの就職を目指す人へのメッセージ

障がい者支援は立ち入りにくいイメージ？この仕事に就いて、自分自身の生き方や人間性にも良い影響をいただいています！

就職活動中の皆さん、障がい者支援は立ち入りにくい分野だと思われがちですが、利用者さん一人ひとりの個性や価値観に多く出会え、自分自身の生き方や人間性にも良い影響を与えてくれる、やりがいのある職種だと思います。

ぜひ、職場見学やボランティアなどに参加してみて、この仕事の魅力を実感してほしいですね。資格さえ取れば何とかなると思い、福祉系大学を選択した私ですが、いたるセンターに就職し、障がい者支援の仕事に就いたことで、自分自身が大きく変わり、成長できたと思います。



阿佐谷福祉工房（就労継続支援B型）
1日のスケジュール

8:30

出勤・朝会・利用者さんの登所・受け入れ

出勤後はその日の予定の確認を行う朝会に参加。
登所される利用者さんをお迎えし、
バイタル測定・体調の確認を行います。



9:15〜12:00

利用者さんの作業支援①

その日のメニューに合わせて、
部材や材料を準備。
利用者さんの作業をサポートします。

12:00

昼食提供・服薬介助

1階の食堂で利用者さんに昼食を提供します。
食前・食後の服薬に飲み忘れがないよう介助します。



13:15〜15:05

利用者さんの作業支援②

午後の作業メニューを開始。
作業進捗を確認しながらサポートを行います。
終了後は、利用者さんの見守りをしながら、
ケース記録の記入や連絡帳を作成します。

16:00

利用者さんの降所・見送り

降所の際は、送迎車への誘導や
玄関先で見送りを行います。
その後、翌日の作業準備や
WEB研修動画の視聴を行う日もあります。

17:00

退勤

残業はほとんどなく、定時で退勤。
ワークライフバランスの取れた
働き方ができています。





LIFE

カフェ巡りに手芸、「推し活」もエンジョイ！
幅広く趣味の時間を楽しんでいます！

ー私生活で最も大切にしていることは？

休日の過ごし方の自由度の高さに、開放感を感じています！

圧倒的自由を謳歌することです！友人との約束や予定がなければ、一日中家から出ずにゴロゴロすることもできるし、いろいろな趣味を楽しむ時間に充てることもできる。そんな休日の過ごし方の選択肢の広さに、開放感や自由度の高さを感じています。







ー息抜きとなる趣味は？

カフェ巡りに手芸、推し活。楽しい！美味しい！をベースに、いろいろな趣味を持ちたいです。

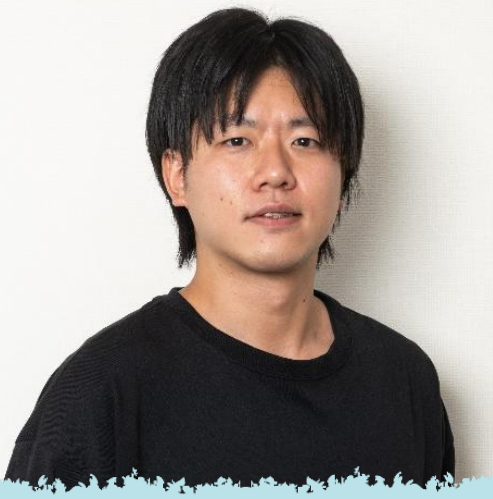
私の息抜きとなる趣味は、カフェ巡り、手芸、推し活ですね。カフェ巡りでは、凝った建物のインテリアや内装を眺めたり、ミルクティーをいただいたり。紅茶にはまって、いろいろな茶葉を購入し、自宅でも楽しんでいます。手芸は、編み物を使った小物づくりで、自分の作品を使うたびに「ワタシってできること多いよねー」という気持ちになって、自己肯定感が上がるのがうれしいですね。これからも「楽しい！美味しい！」をベースに、いろいろな趣味を持ちたいと思います。







新 卒 採 用　生活支援員



へんみ　けいすけ
邊見　奎亮さん

2020年4月1日入社（新卒採用）

包括ケアセンター
グループホーム 所属

WORK



いたるセンターの理念に共感して入職。
一人ひとりの人生に関わる仕事に、真剣に取り組んでいます。

LIFE



趣味は飲み会。職場の仲間と会話して、ストレスをため込みません。
休日は、妻とカフェ巡りなどを楽しんでいます。

WORK

いたるセンターの理念に共感して入職。
一人ひとりの人生に関わる仕事に、真剣に取り組んでいます。

—障がい者支援員を目指そうと思った契機

母が興味を持っていた仕事であり、自分も関心を抱きました。
就職活動の中でいたるセンターの理念に共感し、入職を決めました。

大学時代は、経済学部経営学科という、まったく福祉に縁のない勉強をしていました。
しかし、母が福祉系の仕事に興味を持っており、その仕事に就いたことから、私自身も福祉の仕事に関心を持つようになりました。
合同説明会でいたるセンターの存在を知り、仕事の内容を教えていただくことで、自分が働くビジョンを持つことができました。
その後は様々な法人を見学しましたが、やはりいたるセンターに惹かれました。現場の様子はもちろん、「自立と共生を求めて個性が響きあう　しなやかな社会を目指します」といういたるセンターの理念に共感して、いたるセンターへの入職を決めました。



—グループホームでの業務

福祉について何も知らない所からの不安なスタート。
先輩や利用者様から多くの事を学びました。

配属されたのはグループホーム事業部です。グループホームでは、食事介助・入浴介助・トイレ介助・服薬介助など、利用者さんの日常的なお世話がメインの仕事となります。グループホームの清掃や洗濯、簡単な調理なども業務の内です。また、利用者さんの様子を記録するなどの事務作業もあります。
大学では畑違いの勉強をしていたので、福祉については何も知らず、情熱は抱いているものの、少し不安を感じながらのスタートとなりました。



大学時代には飲食店でアルバイトをしていた期間も長く、調理やその他の家事業務にはあまり不安はありませんでしたが、利用者さんへの対応など、未知の部分が多かったのは事実です。しかし実際に働いてみると、先輩たちからはもちろん、利用者さんからも教えていただけることが多く、イメージ以上に働きやすい環境だったことに驚きました。入社から5年ほど経っている現在でも、利用者さんから多くの事を学び、共に成長しながら、楽しい時間を過ごしています。

—実際に支援の現場に入ってから思ったことは？

一人ひとりの人生に深く関わる重要な仕事。利用者さんやご家族に感謝されると嬉しくなります。



この仕事は、一人ひとりの人生に深く関わる重要な仕事だと感じています。特にグループホームは、利用者さんにとっての生活の場。くつろいで過ごしてもらうことが何よりも大切なので、その点を守れるように業務を考え、行っています。
正直に言うと、利用者さんの個人的な問題などに直面すると、悩むこともあります。しかし、そんな時に利用者さんやご家族の方から感謝の言葉をいただけると、とても嬉しくなります。
そういうことがこの仕事に取り組み続ける上でのモチベーションとなっています。

—今後のキャリアビジョンは？

まずは頼りがいのあるリーダーになること。グループホームの運営をより良いものにできるように貢献したいです。



私は現在、リーダーという立場にあり、グループホーム内のジャズ事業部にある、6ユニットのグループホームの運営をサポートしています。
リーダーになったのは、入社約4年目の2024年1月です。今は約1年半ほどの期間が経っていますが、学ぶことはまだ多いと感じています。今はまず、頼りがいのあるリーダーとなることが目標です。利用者さんが快適に過ごすことができて、スタッフも快適に働ける環境を作れるように努力中です。
そしてゆくゆくは、統括リーダーとなって、グループホーム全体の運営をより良くできるように貢献したいと思っています。

—いたるセンターへの就職を目指す人へのメッセージ

自分で考えて行動する力を養ってくれるいたるセンターで、ぜひ一緒に働きましょう！



仕事上では、単に指示を聞いて仕事をすればいいというわけではなく、様々な状況の中で、自分で考えて決定し、行動します。グループホームの業務では、その場面が特に多いと感じています。
私は、いたるセンターで働くことで、上司や先輩からそのことを教わり、自分で考えて行動する力が養われました。その点でも、いたるセンターは良い職場です。
皆さんもぜひ見学に来て、いたるセンターの良さを感じてください。
そしてご縁があれば、一緒に働きましょう！

グループホーム（夜勤）
1日のスケジュール

16:00

出勤・利用者さんの迎え入れ・バイタルチェック

通所作業所から利用者さんが返ってくるので、順次迎え入れをします。
そして、血圧や体温などのバイタルチェックを行います。

16:30〜18:30

入浴介助・調理

他のスタッフと手分けして、入浴介助
や夕食作りを行います。



18:30〜19:00

夕食提供・服薬介助

調理した料理を盛り付け、配膳して夕食
スタート。食事介助や見守りを行います。
食後は、服薬の介助を行います。

19:00〜21:00

見守り・事務作業

利用者さんの見守りをしつつ、メール確認
などの事務作業を行います。



21:00

連絡帳等の記入

利用者さんはこの時間には就寝されるので、
その後は今日の様子を連絡帳などに記録します。

21:30〜5:00

休憩・見回り

夜間には3.5時間の休憩があります。
休憩をとりつつ、夜間の見回りも定時に行います。

5:00〜6:00

見守り・バイタルチェック

起床した利用者さんのバイタルチェックをして、
見守りを行います。



6:00〜7:00

朝食の準備

7:00〜8:00

朝食・服薬・連絡帳の記入

8:00〜9:00

外出準備

朝食を召し上がった利用者さんの外出準備を行います。
歯磨き・着替え・持ち物のチェックなどを行います。
特に、体調面で不調がないかを入念に確認します。

9:00〜10:00

掃除・洗濯・事務作業

利用者さんが外出した後に、洗濯物や
ホームの清掃などを行います。
また、記録や発注などの事務作業も行います。



10:00

退勤

LIFE

趣味は飲み会。職場の仲間と会話して、ストレスをため込みません。休日は、妻とカフェ巡りなどを楽しんでいます。

ー私生活で最も大切にしている趣味とは？

職場の仲間と飲むことで、ストレス発散。立場に関わらず、楽しくコミュニケーションをとっています。

お酒を飲むのが好きなので、趣味と言われれば飲み会になります。週に3～4日は飲みに行きます。
最も多いのは、職場の仲間との飲み会です。上司や先輩、同僚など、立場に関わらずに飲んで楽しんでいます。飲みの場で何でも話すことにより、職場のストレスをため込まずに仕事に取り組めています。
また、他部署の方と飲めば、お互いに仕事のことで共感しあえたり、アドバイスの交換もできます。ストレス発散と共に、貴重な気づきの場でもあります。





ー他にも息抜きとなる事は？

休日は、妻とカフェ巡りや旅行を楽しんでいます。

私は2025年の5月に結婚しました。休日は、妻と過ごすことが多くなっています。好きなお酒を一緒に飲みに行くこともちろんありますし、妻が好きなカフェ巡りなどにも行きます。
また、一緒に旅行をすることも大好きです。
私は元々、休日にはあまり動きたくないタイプだったのですが、今は妻と共にお出かけをするのも楽しめるようになりました。結婚することで、新たな楽しみを見つけた感じです。





中 途 採 用　**通所支援員**



こんの　もえ
今野 萌さん

2023年4月1日入社（中途採用）

目黒区立目黒本町福祉工房
就労継続支援B型　所属

WORK



母の影響で興味を持った福祉の仕事。
小さな課題も共有できる仲間がいる、風通しの良い職場です！

LIFE



ぬいぐるみ作りやお風呂タイムで自分の時間をゆっくり満喫。
最近はボルダリングにも挑戦しています。

WORK

母の影響で興味を持った福祉の仕事。
小さな課題も共有できる仲間がいる、風通しの良い職場です！

—障がい者支援員を目指そうと思った契機

音楽教師だった母が特別支援学級の担当に。
障がい児との「打てば響く」コミュニケーションの面白さに惹かれ、
「人とともに成長できる仕事」を目指すようになりました。

私は両親ともに教員なのですが、母が特別支援学級の担当になったことをきっかけに福祉の仕事に興味を持ち始めました。
最初は女子大の文学部に進学し、教員を目指していました。特別支援学校の先生がやりたい、と思っていたものの、「一回通常学級の教員を経験してからじゃないとなれないよ」と言われ、実習まで行きましたが途中で教員の道を断念。



いざ就活、となった時、人と話す仕事がしたいなと考えました。例えば接客業とか色々想像してみたんですけど、「どういう接客がしたいか」を考えたところ、自分の中でちょっと違うな、と思って。人の役に立ちたい、人と一緒に成長できるような仕事がしたいと思いました。
大学卒業後は障がい者入所施設に入職し、学生時代から興味のあった精神保健福祉士の資格を取得。働きながら夜間の専門学校に通うのは大変でしたが、大きなステップアップになりました。

—いたるセンターに就職を決めた理由

雰囲気がすごく明るい！風通しの良い職場。

前職で一通りの支援経験を積み、資格取得を経て、新しい環境に挑戦したくなり、転職を決めました。何件か現場を見て回りましたが、目黒福祉工房の雰囲気の明るさがすごく印象的でした。
利用者さんも職員も、みんなが意見を出しやすい、風通しの良い職場だなと感じました。
現在は、主に利用者さんが行う日中活動を支援しています。シール貼りや洗剤の箱の組み立てから、難易度が高い仕事だと、ゴルフボールの印字を削る作業などもしています。

—目黒区立目黒本町福祉工房・就労継続支援B型での業務

モヤモヤを抱えていた前職から、仕事に対する向き合い方が大きく変化。

現在、外部の企業様から受注している作業は、もちろん正確性が求められる作業です。
前の職場では「ちゃんとする」ということが「厳しい、こわい」という印象がありました。支援の仕方はそれぞれの職員の考えかたで動いていて、人によって関わり方もまちまちでした。
「もっとこうしたほうが良いんじゃ…」みたいなモヤモヤとした気持ちを抱えたまま働いていました。



しかし目黒本町福祉工房で働き始めて、職員同士で統一感のある指導を心がけるようコミュニケーションを積極的に取ったり、利用者さんから「もっとこうしてほしい」という要望に応えたりと、今までにないシチュエーションを経験して、仕事に対する向き合い方や感覚が大きく変わりました。

—どんなところに働きがいを感じますか

利用者さんが成長すると自分もうれしい！
どんな仕事でもやり遂げる姿勢は素晴らしいです。



利用者さんの技術が少しずつ上達していって、うまくできたり、きれいにできたりした時にそれを伝えると、更に上達していって、さらにやる気も出だしてくれる。そんな利用者さんの姿を見るとやりがいがあります。
もちろん、利用者さんによって好きな作業と嫌いな作業はあります。そういう時はモチベーションが上がるよう声掛けしたり、「じゃあ午後はこっちでお願いします」と得意な作業を勧めると「やったー！」とやる気を出してもらえたりします。
嫌いな仕事も、「ちょっとやだなあ」なんて言いつつ、ちゃんと作業してくださる姿を見ていると、みんなの素晴らしさを感じます。



—いたるセンターへの就職を目指す人へのメッセージ

自分の目で見るのが一番。
インターネットだけじゃ分からない職場の雰囲気を見てみてください！

以前の職場では「仕事、頑張っているね」と評価をもらっても、自分の中では「もっとこうしたほうが良いのでは…」という引っかかりを感じることが多々ありました。目黒本町福祉工房では、支援で気になることがあったら、上司や同僚に伝えやすい雰囲気で、「そうだね！」とか「こういうふうにしてみたら？」という反応がすぐに返ってきます。仕事の悩みや向き合い方も職員同士で気軽に話せるのは、施設全体が明るい雰囲気だからだと思います。おしゃれなカフェがたくさんある目黒の街も魅力です。



目黒本町福祉工房は、利用者さんも、職員も、施設の雰囲気もとても明るいです。インターネット上で検索して得た情報より、実際に自分の目で見ることが一番だと、私は思います。
目黒には、おしゃれなカフェがたくさんあるのも魅力ですね。

目黒本町福祉工房（就労継続支援B型）
1日のスケジュール

8:30

出勤・朝会・利用者さんの登所・受け入れ

8時45分から利用者さんの登所・受け入れを開始。
その後、職員・利用者さん全員で参加する朝礼を
実施します。
それが終わったらみんなでラジオ体操をして、
午前の作業に入ります。



9:15～11:40

利用者さんの作業支援①

主にシール貼りや洗剤の箱の
組み立てなど、外部の企業さんからの
受注作業をしています。
10時半から15分間の休憩があります。

11:40

昼食提供



13:15～15:40

利用者さんの作業支援②

14時半からの休憩25分を挟んで、午後は
みっちり作業を行います。
利用者さんの得意・不得意に合わせて、
やる気が出るように対応したり声掛けしたり
するのも重要な仕事です。

16:00

利用者さんの降所・見送り・終礼

16時までに利用者さんの降所を済ませて、16時
15分くらいに就労支援B型職員全体の終礼をします。

17:00

退勤

納品に行ってる人たちが帰ってくると、明日の
作業準備をしたり、会議をしたりして過ごします。
気づいたら退勤時間、という感じです。





LIFE

ぬいぐるみ作りやお風呂タイムで、自分の時間をゆっくり満喫。最近はボルダリングにも挑戦しています。

ー私生活で最も大切にしていることは？

大切にしていることは「無理をしないこと」。ゆっくりお風呂に浸かって、たっぷり寝てリフレッシュ。

仕事でも、仕事以外でも大切にしていることは「無理をしないこと」です。自分ができるだけのんびりと落ち着いて過ごせれば良いなと思っています。疲れたり、嫌なことがあったら早く寝ます。早く寝るのが一番です。
また、お気に入りの入浴剤を入れて、友だちからおすすめされた映画をお風呂で観るのが一番のリフレッシュ方法です。お風呂で観るのが一番集中できるんですよね。





ー息抜きとなる趣味は？

ぬいぐるみを作ってプレゼントしたり、ＴＲＰＧをプレイしたり。趣味でも人とコミュニケーションを取るのが好きなんです。

趣味は色々あるんですけど、ぬいぐるみを作ります。布を買ってきてチョキチョキして、みたいな。部屋に飾ったり、友だちにプレゼントしたりするのが好きなんです。
他にはTRPGと言って、パソコンで通話しながらプレイするゲームが好きです。会話をしながら試行錯誤して困難に挑むのが楽しいですね。
あと、最近ボルダリングに挑戦しました！結構近くにあったのでまた行きたいねって友だちと話したりしています。





中 途 採 用　**通所支援員**



たかくら　よしたか
高倉　佳孝さん

2024年4月1日入社（中途採用）

あけぼの作業所
リーフグループ（生活介護）所属

WORK



インスピレーションを感じたあけぼの作業所。
前職からの良いギャップを感じて、楽しい毎日。

LIFE



自分のペースを何より大事に。　無理をしない、スローな休日。

WORK

インスピレーションを感じたあけぼの作業所。
前職からの良いギャップを感じて、楽しい毎日。

―いたるセンターへの入職までのキャリア

高齢者施設を経て、障がい者福祉の道に。
障がい者福祉施設のキャリアは約6年。



前職は、やはり障がい者支援施設で働いていました。キャリアは約6年です。それ以前は、高齢者の福祉施設で約11年働いていました。
高齢者施設から障がい者施設に仕事を移したのは、自分の性格上、コミュニケーションが多い環境の方が、自分らしさを活かせると感じたからです。
以前の勤務施設は、引越しなどの個人的な理由もあり、退職しました。そして、新しい住環境に近い施設をいくつか検討した結果、あけぼの作業所で働かせていただくことになりました。

―いたるセンターに就職を決めた理由

良い意味でのギャップを感じたあけぼの作業所。
「受け入れてもらえた」とう感覚で、1カ月で職場に慣れました。



いくつかの施設を見学した際、私が考えていたのは、「ここで自分が働いたら、どんな感じかな…」ということでした。その点で、あけぼの作業所は、スタッフも利用者さんもフレンドリーで、「ここかな…」というインスピレーションを感じることができました。

実際に働き始めてみると、各作業グループの間に壁がない、良い職場であることが実感できました。利用者さんからもすぐに受け入れてもらうことができて、1カ月ほどで新しい職場に慣れることができました。

2024年4月に入社して、現在はおよそ1年半。朝、出勤する時に「今日は行きたくないな…」とゆううつに感じることが一度もない、良い職場に出会えたと思っています。





—実際に支援の現場に入ってから思ったこと

作業を通して利用者さんの成長を体感。達成感を共有できる素晴らしい仕事。

現在、私が所属する生活介護のグループでは、公園清掃や農作業、レジンの製作、紙すきや糸巻きなどの作業が行われています。
様々な作業を利用者さんと行うことで、業務を共に行い、成功させるという達成感を共有することができます。



また、作業を共に行う中で、利用者さんの成長を見ることができるのも、この仕事の醍醐味です。例えば公園清掃業務の中のトイレ掃除です。トイレ掃除は少し工程が多く、一定のレベルの成果も求められる仕事で、スキルが必要です。私があけぼの作業所で働きはじめた当初は、トイレ掃除を行うことができるのはチームの中の1、2名でした。しかし現在では、4人のメンバーがトイレ掃除を行うことができるようになりました。これは、すごい成長です。
このように、作業を通して、共に成長し、達成感を共有できるこの仕事は、本当に素晴らしいものです。



—いたるセンターへの就職を目指す人へのメッセージ

半年ほどの就職活動を通して出会ったあけぼの作業所。自分の能力を信じ、自分をほめてあげながら、自分を活かせる職場探しを！

私はあけぼの作業所に就業が決まるまで、半年ほどかかりました。ちょっと長い期間だったので、不安を感じる時もありました。しかし、自分の得意なことを見極め、自分をほめてあげながら、自分に合った職場を探し求め続けた結果、あけぼの作業所に出会うことができました。



中途で仕事を探す方は、ぜひ、ポジティブな気持ちを持ち続けてください。休職期間が多少長引いたとしても、自分に合った職場を見つけることが重要です。もちろん、生活がありますから、いくらでも時間をかけるというわけにはいきませんが、あなた自身のキャラクターを活かせる職場を、ぜひ見つけてください。それがいたるセンターであれば、ぜひ一緒に働きましょう！

あけぼの作業所（リーフグループ）
1日のスケジュール

8:30 **出勤**
メールチェック。福祉ソフトで利用者さんの記録を確認。
全体朝礼。1日のスケジュール確認。グループでの朝礼。
前日に組んだチームでの作業を確認。

9:00 **利用者さんの迎え入れ**
利用者さんにその日の作業を説明する。朝の体操。

9:30 **作業開始**



10:15 **休憩**
お茶を飲んで水分補給。

10:30 **作業開始**



11:30～13:00 **昼食と昼休み**
利用者さんの昼食と昼休み。
スタッフは利用者さんの昼食後に休憩します。

13:00 **午後の活動開始**
レクリエーションを中心に時間を過ごします。

14:15 **休憩**
大事な水分補給の時間です。

14:30 **利用者さんの作業終了**
1日の作業は終了。降所の準備を行います。

15:00 **グループの終礼**
1日の作業の振り返りなどを行います。

15:30 **利用者さんの降所開始**
清掃や翌日の準備をしながら、利用者さんを送り出します。



16:00 **降所完了**
メールチェック、記録などの事務作業を行います。

16:45 **全体ミーティング**
今日の振り返りや申し送りを行います。

17:00 **退勤**

LIFE

自分のペースを何より大事に。無理をしない、スローな休日。

ー休日の過ごし方

自分のペースを守った、規則正しい休日。

休日は、基本的には平日のペースを崩さず、自分の身体を適度に動かして過ごしています。
朝は5:00に起きてストレッチ。その後は音楽を楽しみながら散歩します。散歩は、一番のストレス発散です。
10:00頃から、掃除や洗濯など、音が出る家事を行います。お昼ごろまで家事をして、昼食。大好きなラーメンを食べに行ったりもします。食後はお香を焚き、音楽を聴いてリラックス。昼寝をする時もあります。15:00頃からは、妻と買い物に出かけたりして、街歩きを楽しみます。
18:00頃からは、ナイトタイム。夕食後には、YOU TUBEを見ながらフィットネスをします。
その後に、お風呂に入って、軽く飲んでまったりと過ごし、22:00頃に就寝する感じです。

とにかく大事にしているのは、自分のペースを守る事。時間を区切っているように見えますが、それは単なる目安で、とにかくゆっくりと過ごしています。そして、体を動かし、大好きなことだけをしているのです。土日の内の1日は、必ずこんな感じで他の予定を入れずに過ごしています。





ー私生活で最も大切にしている趣味とは？

シチュエーションに合わせて、音楽を聴くのが大好き。
ゲームや動画鑑賞も楽しんでいます。

どんな時でも、とにかく音楽を聴くのは好きです。散歩の時にはジャズやボサノバを聴くなど、シチュエーションごとに様々な音楽を楽しんでいます。
また、ゲームをしたり、ダラダラとYOU TUBEなどを見るのも好きです。アメコミの雑貨なども趣味で集めていて、好きなものに囲まれながら、まったりと過ごすのが、自分を大切にした休日の過ごし方です。





中途採用　**保育士**



たましろ めぐみ
玉城 萌さん

2018年10月1日入社（中途採用）

ピヨピヨおうちえん荻窪駅前 所属

WORK



子どもたちが「ピヨピヨ楽しかった」と1日を終えてくれたら、
それが何よりうれしいです。

LIFE



土曜日はスイミングで、娘と体を動かします！

WORK

子どもたちが「ピヨピヨ楽しかった」と一日を終えてくれたら、それが何よりうれしいです。

ー主な仕事の内容

子どもたちの健康と安全を守るのが一番大切な仕事です。

日々お預かりしているお子さんたちの健康と安全を守ることを第一に考えています。その上で、保育園という集団生活の中でしかできない経験をさせてあげたいと思いながら、いろんな活動を考えています。特に、感触遊びや制作には力を入れています。また、食育や生き物の飼育を通して、情操面も豊かにするさまざまな活動もしています。さらに、月々の書類作成や保育に使う道具作りなども大切な仕事です。



ー保育士を目指そうと思った動機・きっかけ

居酒屋勤務から保育士に転身！？人生で一番勉強した保育士試験。

元々は、保育園の隣の居酒屋さんに勤務していました。それが、皿洗いを手伝うようになり、だんだんと保育にも関わるようになり、保育士の資格取得を目指すようになりました。
働いているうちに、もっと深く保育士の仕事に取り組みたいと思うようになりました。そんな時、園長先生に保育士試験を勧められて、保育士になることを決心しました。
保育士試験を受ける時には、人生で一番勉強しました。保育室で働いてから隣の居酒屋さんに出勤して、お店が始まるまでの2時間ぐらい、ずっと勉強して、ちょっと仮眠をとって、また勉強してという生活をしていました。今では絶対できません 😁
そして、コロナ禍の影響を受けながらも2年半で無事合格して、2018年10月からは正式に保育士として、正職員になりました。

ー入職前と入職後のギャップ

命を預かる仕事に責任の重さを感じて…。慣れないデスクワークも大事！



保育士って、最初は「子どもと遊んでいて楽しそう」という印象だったんですけど、そんなに甘いものではありませんでした。とにかく命を預かっているという責任が重いです。その点については、保育士という仕事に対して、すごくギャップがありました。
それに、書類の作成などのデスクワークも結構多くて、元々デスクワークを経験したことがなかったので、最初は大変でした。
例えば、毎週の週案や月のスケジュールがあります。この計画を立てることで保育の見通しが立つので、大事な仕事です。最初は文書の中の言葉の使い方も先輩にチェックしてもらって、自分でもちゃんと考えて言葉を選べるようになりました。書類でも連絡帳でも、子どもたちのことを考えてリアルに作ると、自分の保育にも表れるところがあると思います。

ー働き甲斐を感じるところ

子どもたちが健やかに1日を過ごせたら、すごく良かったと思えます。

とにかく、子どもたちが、本当に何もなく、健やかに、安全に1日を過ごせることができたら、とても充実感とやりがいを感じます。その上で「ピヨピヨ楽しかった」と思ってもらえて、1日が終えられたら、そのことに働き甲斐を感じます。そして、それが保護者の方たちにも伝わった時はすごく良かったなと思います。
お迎えに来られたお父さん・お母さんにその日あったことを嬉しそうに教えている子どもの姿、それを微笑ましく見守る保護者の方を見ると、「今日も安全に楽しく1日が終わって良かった」「もっと子どもたちがワクワクするような遊びを考えよう」という気持ちになります。



ー産休・育休について

産休は園長先生から進められて。復帰もスムーズにできました。



産休は非常に取りやすかったです。私は切迫早産になってしまい、1カ月ぐらい早く産休に入ることになってしまったのですが、むしろ園長先生から「とにかく赤ちゃんのこと一番に考えて」と、早く産休を取るように言われました。同僚も「とにかく安静にして」と言ってくれて、すごく産休が取りやすかったです。
育休についても同様でした。娘の保育園入園が早く決まって早めに復帰できる状態になったのですが、その時もあたたかく受け入れてもらえました。育休は1年ちょうどでした。
職場復帰の時は、仕事自体もそうですし、娘を保育園に預けて自分は仕事をするというリズムを掴むのが大変でした。復帰直後は、時短で働かせてもらいました。娘が保育園に慣れるペースに合わせて、徐々に勤務時間を増やしてもらいました。

ーいたるセンター・ピヨピヨおうちえんへの就職を考えている人へのメッセージ

雰囲気の良さは抜群！
成長スピードの速い子どもたちに刺激を受ける毎日が送れます！

はじめてピヨピヨおうちえんに行った時、その雰囲気の良さに感動しました。それは働き始めてからも一緒で、職員同士の人間関係が良く、それが保育園の雰囲気を作り出しています。そして、職員間の人間関係が良いからこそ、それが保育にも反映されていて、子どもたちも伸び伸びと過ごしています。
それに、子どもたちの成長スピードはすごく早くて、刺激的です。大人だけの職場では得られない感動が毎日得られるのも楽しいです。
時間のメリハリもしっかりとしていて、仕事と休憩の区切りもきっちりとしています。
保育士として働くことを考えている方、新しい環境で保育士として再スタートしようと考えている方、雰囲気の良い、居心地の良いピヨピヨおうちえんで、一緒に働きましょう！



ピヨピヨおうちえん荻窪駅前
1日のスケージュール（早番勤務の場合）

7:30

開園時間

園児のお迎えをしながら、保護者の方々に
ご家庭での子どもたちの様子を伺います。



9:30

朝おやつ

朝のおやつタイム。
子どもたちがおやつを食べているのを見守りながら、
朝の連絡事項を保育士たちで共有します。

10:00

お散歩

公園で子どもたちと一緒に、元気に遊びます！
近年の夏の暑い時期には、お散歩ではなく、水遊びや室内遊びをします。

11:00

昼食

0歳・1歳・2歳、それぞれのクラスの子どもたちの食事をサポートします。

12:00

お昼寝

子どもたちはお昼寝の時間。
保育士は、子どもたちの様子をチェックしながら、
連絡帳の記入などの事務作業を行います。
また、交代でしっかりと休憩をとって、午後の保育に備えます。



14:00

起床

お目覚めした子どもたちの検温などを行います。

15:00

午後おやつ

みんなで歌を歌った後、おやつを食べます。

15:30

フリータイム

好きなことをして遊ぶ子どもたちを見守ります。
また、園児たちの状況や体力によっては、お散歩にも出かけます。

16:30

退勤

早番の場合、この時間で退勤となります。
子どもたちのお迎えは、このぐらいから徐々に始まります。



17:00

お迎え

このぐらいの時間から、お迎えが本格的になってきます。
子どもたちの1日の様子などを、なるべく詳しく、丁寧にお伝えします。

18:30

閉園

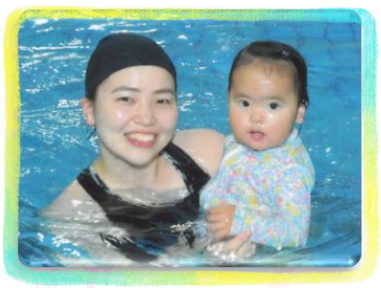
お迎えもすべて終わり、ピヨピヨの1日が終わります。

LIFE

土曜日はスイミングで、娘と体を動かします！

ー休日のタイムスケージュール

土曜日はスイミングで娘と体を動かします！



休日は7:30とか8:00ぐらいに起きて、毎週土曜日はお昼から娘とスイミングに行きます。スイミングのあとは、お買い物に行って、家に帰って夜ご飯です。
日曜日は、妹が毎週のように来てくれて、娘と一緒に遊んだりしてくれます。パパが飲食業で、家にいない時間が多いので、妹がきてくれてとっても助かっています。そんなパパも、平日の朝は娘を保育園に必ず送ってくれます！

ー私生活で最も大切にしていることは？

娘と過ごす時間を確保することが、私生活でもっとも大切です。





大切にしていることは、娘との時間をできるだけ多く確保するということです。やはりフルで働き始めて、私は職場に、娘は保育園に行っている時間が長いので、できるだけ一緒に過ごす時間を確保するように努力しています。家事もしたいことがいっぱいあって、そうなると、「今日全然あそべなかったなぁ」とか、「今日ずっとテレビみさせちゃったなぁ」とかいう時もあるので、それが課題です。今は、できるだけ娘と一緒に過ごす時間を作るのが、私生活で最も大切ですね。

ーあなたにとっての息抜きは？

休日の運動とお酒がストレス発散！

まずは、お酒ですね 😋 休日にお酒を飲みながら韓国ドラマを見るのが、息抜きになります。平日は飲まない日もありますが、土日はほぼ飲みます。そんなに量は飲みませんが。
あとは、土曜日に娘と一緒に通っているスイミングですね。学生時代はずっとスポーツをやっていて、基本的に体を動かすのが好きなので、ストレス発散になります。









新 卒 採 用　生活支援員



グエン ホン ゴックさん

2019年4月1日入社（新卒採用）

包括ケアセンター
グループホーム 所属

WORK



利用者さんの笑顔で元気がもらえる、この仕事が大好きです。

LIFE



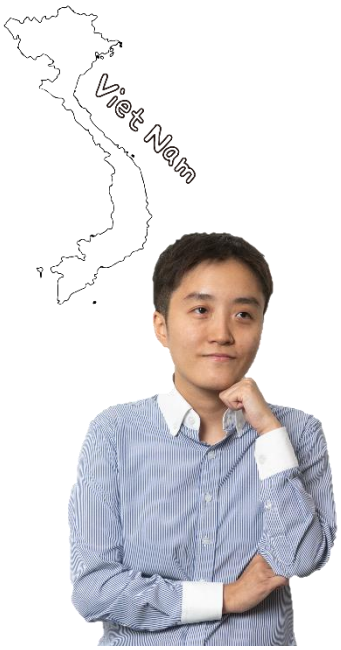
部屋の掃除や料理がストレス発散に。
いたるセンターの外国人の先輩との旅行も楽しんでいます！

WORK

利用者さんの笑顔で元気がもらえる、この仕事が大好きです。

—障がい者支援員を日本で学ぼうと思った契機

ベトナム・ハノイの出身。
福祉の習得を目指して日本に来ました。



私は、ベトナムのハノイ出身です。
ベトナムでは、日本ほど福祉が浸透していません。私の祖母が脳梗塞で倒れ、車いす生活を余儀なくされた時に、そのことを感じました。祖母は、周りの目を気にして車いすで外出することを嫌がるり、あまり家から出なくなりました。それが、とても悲しかったです。
そこで、福祉を学んで、ベトナムでも祖母のような人が気兼ねなく外出できるような社会になるように貢献したいと思いました。
その点で、日本はすでにそのような福祉環境が整っているし、親戚もいたので、日本で福祉を学ぶことにして、2014年、19歳の時に訪日しました。
訪日後は、日本語学校に2年、福祉の専門学校に3年通って勉強しました。

—いたるセンターに就職した経緯

外国人の就労にもオープンな、いたるセンターに惹かれました。

専門学校時代、様々な実習に行きました。障がい者施設が2か所、老人介護施設が6か所でした。
実習を通して様々な経験をする中で、自分の気持ちは障がい者福祉に傾いていきました。そして、就活前に、いたるセンターの目黒本町福祉工房でボランティアを経験した時、その気持ちは決定的になりました。利用者さんがおいしそうに食事をする姿や、音楽を楽しむ姿を見て、その人間性の豊かさに心を打たれました。
実際の就職活動では、やはり外国人という難しさを感じました。そんな中で、いたるセンターは、すでに外国人のスタッフも活躍していて、私に対してもオープンに扉を開いてくれました。そこで、いたるセンターに就職することを決めました。

—実際に支援の現場に入ってから思ったことは？

家事は基本的に初体験。
そんな中でも、利用者さんの笑顔に励まされて成長できました。



いたるセンターでは、グループホーム事業部に配属されました。
主な業務は、利用者さんの住まいであるグループホームで、利用者さんの生活全般をサポートすることです。その中には、掃除、洗濯、調理なども含まれます。
私は実家にいた頃、料理をはじめとする家事をまったくしていませんでした。ですから、この仕事は私にとって、とても挑戦となる内容でした。しかし、実際に努力してみると、すぐに身につ

けることができました。特に、私の作った料理を食べて利用者さんがおいしいといってくれるようになると、とても嬉しかったです。それ以外の部分でも、利用者さんの笑顔に励まされることが多くあります。最初は苦労もありましたが、今はこの仕事が大好きです。



日本語についても、5年間の学生生活の中で身についたものの、最初は業務の中で初めて聞く言葉も多く、さらに勉強が必要でした。それでも、先輩のスタッフなどに教わりながら、記録業務などをこなすことができるようになりました。

—今後のキャリアビジョンは？

現在はグループリーダー。
スタッフが働きやすく、利用者さんが安心して過ごせる施設の運営に取り組んでいます。



2025年4月から、私はグループリーダーに昇格しました。外国人でもちゃんと働けば責任のある立場に就けてくれるのが、いたるセンターの良さだと思います。
グループリーダーの業務は、通常のグループホームの業務に加え、人事考課や職員面談、各種会議の出席・運営が含まれます。責任も増えますが、やりがいを感じています。
職員の方は、様々な悩みを抱えながら働いています。それらの悩みを軽減し、結果として、利用者さんがより住みやすい施設を作り上げられるように、頑張りたいと思います。

—いたるセンターへの就職を目指す人へのメッセージ

真面目に働くつもりがあれば、外国人でも受け入れてくれる職場環境。
福祉への志がある人は、日本語を身に着け、ぜひチャレンジを！

福祉への志がある人は、日本語を身に着け、ぜひチャレンジを！
いたるセンターは、まじめに働くつもりがあれば、外国人でも受け入れてくれます。
そのためには、もちろん、自分自身の努力も必要です。日本語をしっかり身に着け、職員とのコミュニケーションが取れるようにならなければなりません。
ベトナム以外でも、福祉環境が整っていない国は、まだまだたくさんあると思います。そういう環境の中で福祉への志を持っている方は、ぜひいたるセンターを見学して、その上で働きたいと思ったら、チャレンジしてみて下さい！



グループホーム（夜勤）
1日のスケジュール

15:00

出勤・利用者さんの迎え入れ・バイタルチェック

通所作業所から利用者さんが帰ってくるので、順次迎え入れをします。
そして、血圧や体温などのバイタルチェックを行います。

16:30〜18:30

入浴介助・調理

他のスタッフと手分けして、入浴介助
や夕食作りを行います。



18:30〜19:00

夕食提供・服薬介助

調理した料理を盛り付け、配膳して夕食
スタート。食事介助や見守りを行います。
食後は、服薬の介助を行います。



19:00〜21:00

見守り・事務作業

食事が終わった利用者さんの口腔ケアなどを行い、
就寝まで見守ります。

21:00〜23:00

朝食の下準備・事務作業

利用者さんはこの時間には就寝されるので、
その後は朝食の準備や掃除、
連絡帳記入等の事務作業を行います。

23:00〜5:00

見回り・休憩

夜間には3.5時間の休憩があります。
休憩をとりつつ、夜間の見回りも定時に行います。



5:00〜6:00

朝食の準備

6:00〜7:00

起床声掛け・バイタルチェック

利用者さんに起床を促し、バイタルチェックをします。

7:00〜8:00

朝食・服薬・連絡帳の記入

8:00〜9:00

外出準備

朝食を召し上がった利用者さんの外出準備を行います。
歯磨き・着替え・持ち物のチェックなどを行います。
特に、体調面で不調がないかを入念に確認します。



9:00〜10:00

掃除・洗濯・事務作業

利用者さんが外出した後に、洗濯物や
ホームの清掃などを行います。
また、記録や発注などの事務作業も行います。

10:00

退勤

LIFE

部屋の掃除や料理がストレス発散に。
いたるセンターの外国人の同期との旅行も楽しんでいます！

ー私生活で最も大切にしている趣味とは？

休日は、部屋の掃除に料理。たくさんの料理を作ります。



休日は、まずは部屋の掃除。これがストレス発散になります。また、たくさんの料理を作ります。料理も、ストレス発散になります。
私は、あまりたくさん食べないので、アパートの隣の人にあげたりして、食べてもらっています。喜んでいるかどうかはわかりませんが 😋

ー他にも息抜きとなる事は？

いたるセンターの外国人の先輩との旅行も楽しんでいます。



いたるセンターには、同じ国の出身の同期もいます。その同期と一緒に帰国して、旅行などを楽しんだりしています。海に行ったり、街を散策したり…。日常を離れて、楽しい時を過ごしています。



ーご自身でやると決めていることは？

さまざまな寄付を通して、自国を応援しています。

さまざまな寄付をすることも、私個人のポリシーです。UNICなどの国連の活動に寄付をしています。
また、自国の山間の小学校の給食費など、自国を応援する寄付もしています。将来的には、自国の福祉環境の整備に関われると嬉しいです。



阿佐谷福祉工房



あけぼの作業所



イタール成城



目黒本町福祉工房



包括ケアセンター



ピヨピヨおうちえん



OFFICES AND FACILITIES

事業所や施設の取り組み

阿佐谷福祉工房



縦の糸はスタッフが、横の糸はご利用者が。
伝統のさをり織り。

素朴な木製の機織り機を使った「さをり織り」は、阿佐谷福祉工房のご利用者の誰もが楽しみにしている時間です。縦の糸をスタッフが張り、横の糸は糸選びから織りの工程まですべてご利用者が進めていきます。設立して半世紀を過ぎた今も、ぱたんぱたんと機を織る音が、工房内に優しく響いています。織りあがった作品は、ぬいぐるみなどのオリジナル商品に採用され、工賃アップにつながっています。

あけぼの作業所



本格製法のあけぼのオリジナル、
4種類のカレー缶が大人気。

程よい辛さがクセになる「グリーンカレー・スパイシー」と「グリーンカレー・ミディアムスパイシー」。とろとろになるまで炒めた玉ねぎと、隠し味のグリーンカレーのルーが絶妙なバランスの「とろけるカレー」。新たに辛さを抑えた「とろけるカレー・マイルド」もラインナップに加わりました。美味しさを追求して改良を重ね、多くのファンに愛されるロングセラー商品となりました。

イタール成城



何もない地平からスタートした、終わりなきアート。

イタール成城のアート活動から生まれる作品は、一人ひとりが感性のおもむくままに自己表現し、生きているという確かなエネルギーの結晶です。何もない地平から生まれたばかりの小さな可能性の一粒一粒が、躍動し無限に広がり続け、いつの日か人々に感動を与えることができるでしょう。脈々と変化し続ける価値観と創造力が、あなたの感性の一部に触れることができることを信じています。

目黒本町福祉工房



毎年、十二支にちなんで製作される素焼きの干支土鈴。

土鈴（どれい）とは、陶製の鈴で、中国では古くから厄除けとして愛用されてきました。古来より、鈴の音は徐魔の力を持つといわれ、現在に至るまで神事に用いられています。土鈴もまた、その音色により福を招き、悪魔を払う祭礼用とされてきました。目黒本町福祉工房では、開設当時からこの干支土鈴を作成。石膏の型取りから焼成、絵付けまで約1年半かけて作成しており、多くの方々にご購入いただいています。

パン工房プクプク



安全・安心のパン作りで、
杉並・中野の区立保育園全園に納品。

自分の子どもに食べさせたいものを作る、という姿勢で、天然酵母・厳選小麦を使用した美味しいパンを毎日焼いている、パン工房プクプク。仕込みから焼きあがるまでに３日間。一般的なパン作りの10倍以上の手間と時間をかけ、もちもちふっくら、噛めば噛むほど美味しさが増してきます。保存料などの添加物を使わない安心・安全なパンは、食育を奨励している数多くの保育施設でご愛顧いただいています。

包括ケアセンター グループホーム



衣食住を支え、ご利用者の暮らしを
守り続けるために。

生まれ育った地域で長く暮らしたい、というご利用者の思いをかなえるのが、グループホーム（共同生活援助）です。障害者の地域生活拠点として衣食住を支えるとともに、重度化・高齢化の流れにも対応できることが求められています。こうしたさまざまな課題に対し、改築等の環境整備や、介護ロボット等のデジタル技術の活用など工夫を講じながら、ご利用者の暮らしそのものを守り続けていきます。

サポートウイズ



地域共生社会の実現を見据えた、トータル・サポート。

サポートウイズは、相談からサービスの提供までをワンストップで実現する総合相談支援センターとしての機能を持つ事業所です。障害者の外出支援から居宅介護、通院介助、訪問看護、そしてそれらのサービス利用計画を立案する相談支援に加え、施設や病院に入所・入院されている方々に対する地域生活への移行に関する支援、定着に関する必要な情報提供や助言まで、総合的な課題の解決を目指しています。

クローバー



ブルックリンスタイルを意識した「第三の居場所」。

ご自宅を離れ、不安を抱えるショートステイのご利用者が、少しでも安心してリラックスできるよう、ブルックリンスタイルを意識した室内デザインにしてみました。カフェのような和やかな雰囲気、清潔できれいな空間を提供することによって、「第三の居場所」として受け入れられることを第一に考えています。落ち着けるスペースであるだけではなく、安全かつ安心していただける運営を目指しています。

SDGs 推進室



障害をもつ社員をサポートする、ジョブコーチ事業。

SDGs 推進室は、三井不動産リアルティ株式会社が雇用した障害者社員（メンバー）に対し、企業内でジョブコーチを行なう事業部です。メンバーが業務にやりがいをもって取り組めるよう、個性や習熟度に合わせ、作業の割り振りやコーチングを行っています。また、就業面だけでなく、生活面に関するフォローアップも行い、ご家族や支援機関と連携して社会人生活を円滑に送れるようサポートしています。

ピヨピヨおうちえん／ピヨピヨおうちえん荻窪駅前



乳幼児の気持ちに寄り添う、保育プログラムを実践。

「生命の奇跡」に対する感謝を第一として、心身ともに安全な保育を目指す、「ピヨピヨおうちえん」と「ピヨピヨおうちえん荻窪駅前」。子どもの育つ力をのばし、豊かな感性と思いやりの心、自然を大切にする心、丈夫な身体と感謝の気持ちを育てています。自分の思いを言葉では表現できない乳幼児の気持ちに寄り添い、ゆっくりと時間をかけて受け止めることで、「心の育ち」を促す保育プログラムを実践しています。

ITARU CENTER IN NUMBERS

数字で知るいたるセンター

男女比
49.5% / 50.5%
男性 女性
性別に関係なく、キャリア形成を目指せます。

年齢構成
45歳（平均年齢）
年齢に左右されず、さまざまな世代が協力・連携。

平均勤続年数
7年
長く働き続けられる環境。安心してキャリアを積めます。

有給取得率
78%
休みを取りやすい雰囲気。連休でリフレッシュする職員も。

平均残業時間
2.09時間（月平均）
プライベートとの両立がしやすい就業環境です。

産休・育休取得率
100% / 98%
産休取得者 育休取得者
ライフイベント後も、安心して働き続けられます。

仕事への満足度
満足 95%
※職員自己申告調査による
年々、仕事への満足度が上がっている傾向です。

職場の雰囲気
良い 89%
※職員自己申告調査による
上司も同僚も後輩も、仲間同士としての絆があります。

いたる

ITARU CENTER

